

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻78号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

春の兆し

2023年3月18日（土）



ウグイス

主催 あつぎこどもの森クラブ

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

春をみつけよう

まだ時には気温の低い日もある季節。草の中には花は咲かせるものの葉を地面に接するように広げて寒さから身を守ろうとしているものがあります。



ヒメジョオン 蕾



ジュウニヒトエ 蕾



キシムシロ



カントウタンポポ



カキドオシ



タチツボスミシ

寒さに強くしっかり伸びているものもあります。



ホトケノザ



ヒメウス



アマナ

アマナは厚木では他に記録が少ない希少種のため、こどもの森公園内の所在地は秘密です。



セリ



オオバヤシャブシ 雄花



左 雌花 タチヤナギ 右 雄花



ウグイスカグラ



モミジイチゴ



キブシ



スギの雄花
花粉がまるで霧の
ように飛散する。

ミツマタの花と、ここに集まる昆虫



ヒロドツリアブ



ヒメフンバエ

ヒロドツリアブ成虫はこの時期にだけ出現します。

最近のこどもの森公園 3月 11日



ヒメノキシノブ

苔の生えた樹皮などに着生します。
空気がきれいなことの証拠でもあります。



テングチョウ

成虫で越冬します。
陽だまりを飛び回り、休むときは翅を太陽の方に向けて掲げます。



アラカシの芽の間に産み付けられたキリガの卵。

アラカシの芽が展開する頃に卵も孵化する。



オオイヌノフグリの蜜を吸う冬眠から目覚めたキタキチョウ



回廊の手すりの上のスグロキハムシ



ハチ類を捕食する♀のネコハエトリグモ



オナガグモ

1本だけの糸を張り、この糸を伝って歩いてきた虫を捕食する。



クヌギハナカイメンフシ

クヌギハケタマバチが作る両性世代の虫こぶ。早春にクヌギ雄花序に卵が産み付けられこのような虫こぶが形成される。

タマバチは6月に羽化し、葉裏に産卵する。ここから形成される虫こぶは形が違い、クヌギハケタマフシとなる。タマバチは秋に葉から脱落した虫こぶ内で成虫となり越冬し、早春に交尾産卵する。

センサーカメラがとらえた画像

今月も画像が得られませんでした。

園内に足跡などの痕跡はあるのですが、以前に比べて少なくなったようです。

活動の記録



開墾畑整備 2月25日

昔、開墾畑があったところを復元しています。

アズマネザサがびっしり生えていたところは刈り取り広々とした感じになりました

ここに、園内に自生する里山を象徴する植物を移植し見本園としたり、草木染めに使うアカネなど栽培したり、ウメなどの樹木を植えて、昔の里山風景を創ろうなどと相談して少しずつ進めています。

2月25日は広いところを区画するために茶の木の生垣を作る作業をしました。昔ここを耕作していた人が残した茶の木が雑草に紛れてたくさんあるので、集めて移植する作業をしました。

作業は必要に応じて随時行うのですが、毎月第1、第3の木曜日は定例作業日とします。

興味のある方の参加を待っています。

参加希望の方は、こどもの森クラブの会員になっていただくことが条件です。会員になると作業時の事故に対する保険がかけられます。

手続きは、公園管理事務所で扱っています。

こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日 雑木林の春	← 次回	11月18日 みのりの秋
5月20日 新緑の空中回廊を歩く		12月16日 生き物の冬越し
6月17日 水辺の生き物 トホ・カエル		
7月15日 木もれ日の回廊を歩く		2024年 1月20日 冬の野鳥
8月19日 湿地の生き物を調べる		2月24日 冬芽とコケ
9月16日 草原の虫たち		3月16日 春の兆し
10月21日 秋の花		

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

4月 9日 9:20 ~	こどもの森公園と水生生物について	← 次回
5月21日 9:20 ~	水生カメムシについて	
5月28日 9:20 ~	両生類イモリ・カエルについて（七沢遠足）	
6月18日 19:30 ~	ホタルについて	
7月23日 9:20 ~	水生ハエ目について	
8月11日 9:20 ~	トンボについて	
9月 3日 9:20 ~	水生コウチュウについて	
9月24日 9:20 ~	荻野川河川調査	
10月15日 9:20 ~	外来生物について	
11月12日 9:20 ~	冬越しの準備	
12月10日 9:20 ~	生き物の冬越し	
1月 8日 9:20 ~	落ち葉かき カブトムシ増やし	
1月21日 9:20 ~	ヤゴの観察 標本作り	
3月17日 9:20 ~	ヤマアカガエルについて	

各実施日前日 19 時より Zoom で解説をします。こちらの定員はありません。
労作ボランティア
このほか大人対象で生きもの住める環境整備などの活動を行います。定員なしの自由参加です。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9：30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。（入会はいつでも受付けています）

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1、第3日曜13時 ~15時